

四日市市立水沢小学校

学校だより



令和6年3月25日 第64号 (最終号)



春の花があざやかに咲きほこっています。もうそこまで春がやってきているのですね。本日で令和5年度が終了しました。地域や保護者の皆様には、登下校の見守りや外部指導者としてのかかわり、環境整備等で大変お世話になった1年間でした。本当にありがとうございました。誠に感謝いたしております。

令和6年度は、4月8日(月)が始業式・入学式です。インフルエンザやコロナウイルスの感染症に負けないように、しっかりと手洗い、手指消毒、うがい等をし、交通事故にも十分気をつけて、全員揃って1学期の始業式、入学式には元気な姿で会いましょう。



## 令和5年度修了式を行いました。〈校長が話した概要です〉

この1年間で、皆さんは心も体も随分と大きくなりました。学年ごとに1年間を振り返ってみます。

1年生。4月、桜が満開の入学式。初めての小学校生活のスタートでした。現在はすっかり学校生活にも慣れて、毎日の学習や遊びに楽しく過ごせています。元気にあいさつもできるようになりました。お友だちもたくさんできて、一所懸命勉強や運動している様子が伝わってきました。随分と自分たちでできることが増えました。

2年生。教室をのぞくと、担任の先生のオルガンに合わせて歌ったり踊ったりしている姿が印象的でした。かけ算九九を覚えるのもリズムに乗った歌を作ってしっかりと覚えることができました。先生のお話をよく聞いて勉強に運動に励むことができました。1年生の後輩もできて、すっかりお兄さんお姉さんになりました。

3年生。はじめてバスに乗って校外学習に出かけました。訪問先の職員の方からの話をしっかりと聞き、自分の考えを整理してたくさんの質問をすることができました。いつも笑顔で、学級全員が仲良く過ごしている姿が印象的でした。小学校生活の半分を終えたこととなります。これからは先輩になることを少し意識しましょう。

4年生。「6年生を送る会」では、趣向をこらした発表を披露してくれました。最後にランドセルから何が出てくるのかドキドキしました。社会見学やクラブ活動、学校行事にも一生懸命取り組むことができました。来年度は自然教室が6月に控えています。高学年として6年生と共に学校をリードしていきましょう。

5年生。自然教室では、ウォークラリーやカヌー体験をしました。班のなかまと協力して活動している姿が印象的でした。三泗音楽会では、トップバッターで4年生と一緒に元気できれいな歌声を響かせてくれました。4月からは最高学年です。しっかりと学校をリードしていきましょう。今まで以上の活躍を期待しています。

本日、担任の先生から学年末の通知表が渡されました。一人ひとりが1年間を振り返り、できなかった課題は一層努力し、褒められたことはさらに伸ばし、自分の夢や希望に向かって新年度も頑張ってやっていきましょう。

最後に2つ。この1年間、上級生が下級生の面倒をしっかりとみて、なかまと笑顔で穏やかに接することができました。運動会や持久走記録会、なわとび集会や6年生を送る会等の行事でも力を抜くことなく一所懸命取り組むことができました。心穏やかに人(相手)と接すること、どんなことにも一所懸命取り組むことは、人が生きていく上でとても大切なことです。大リーグ、ロサンゼルスドジャースの大谷翔平選手が注目を浴び、メディアに取り上げられて称賛されるのも、こういったことが日々の生活でしっかりとできているからだと思います。時には失敗やミスをするもありますが、一所懸命やっている姿は人に感動を与えます。4月からも続けてほしいと思います。

2つ目は、私の7年前に亡くなった妻の話です。低学年の子たちの中には、感情をどこに持っていったらいいのかわからず、なかまや先生をたたこうとした子が中にはいました。私の妻も以前小学校の先生をしていたのですが、低学年の担任をしていた時に、感情を抑えきれない子を抑えようとしてお腹をたたかれました。その時にお腹には小さな命を宿っていたのですが、思いきりたたかれたために、その子はお腹の中で死んでしまいました。自分の感情を抑えられず、どうしていいかわからないこともあると思いますが、一つ間違ると人の命を奪ってしまうことにもつながります。どんなにいやなことがあっても、人をたたいたり蹴ったりすることは、やめてほしいと思います。これが皆さんに伝えたかった2つ目のことです。

先生や地域の皆様、保護者の皆様が、真心を持ってみんなのことを見守ってくれています。皆さんも水沢小のなかまをはじめ、自分の周りにいる人たちを大切に、これからもやさしい心で接してほしいと思います。

明日からは春休みになります。安全で規則正しい毎日を過ごし、4月8日(月)の始業式・入学式には、全員そろって、元気に会えることを楽しみにしています。

(文責 北住 昌文)

